

製品名: TBX22 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18708**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	58kDa

抗原情報

遺伝子名	TBX22
別名	TBX22; TBOX22; T-box transcription factor TBX22; T-box protein 22
遺伝子 ID	50945.0
SwissProt ID	Q9Y458
免疫原	抗血清はヒト TBX22 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

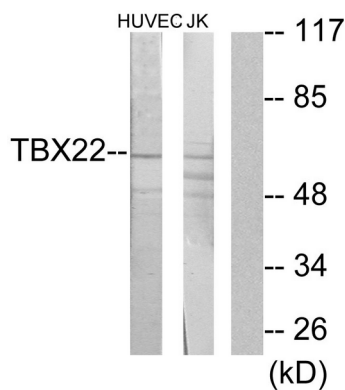
背景

T-box 22 (TBX22) Homo sapiens この遺伝子は、共通の DNA 結合ドメインである T-box を共有する、系統学的に保存された遺伝子ファミリーのメンバーです。T-box 遺伝子は、発達過程の調節に関与する転写因子をコードしています。この遺伝子の変異は、遺伝

性 X 連鎖疾患である口蓋裂舌癒着症と関連付けられており、ヒトの口蓋形成において主要な役割を果たしていると考えられています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションがみつかっています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、疾患: TBX22 の欠陥は、X 連鎖性口蓋裂舌癒着症 (CPX) [MIM:303400] の原因です。機能: 発達過程に関する転写制御因子と考えられます。これは口蓋形成に極めて重要な主要な決定因子です。類似性: 1 つの T ボックス DNA 結合ドメインを含みます。組織特異性: 低レベルで発現しているようです。

研究分野

画像データ



TBX22 抗体を用いた Jurkat 細胞および HUVEC 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。